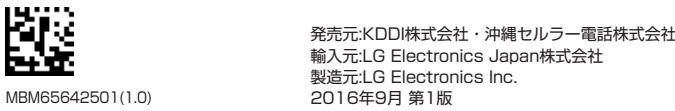


このたびは、[isai vivid (LGV32)] (以下、「本製品」または「本体」と表記します) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書では、主な基本操作・初期設定について説明しています。
さまざまな機能の説明については、auホームページから「取扱説明書 詳細版 Android 6.0対応版」をご参照ください。

本書に記載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
本書では®マーク、TMマークを一部省略して記載しています。



- 基本操作を覚える
各部の名称や基本操作を説明しています。
- 初期設定
以下のSTEPで説明しています。
・言語の設定、ユーザー補助
・無線LAN (Wi-Fi®) の設定
・Googleアカウントの設定
・その他の設定
- auかんたん設定
au IDやauのサービスの設定を行います。
- Eメールの設定とバックアップ
Eメール (@ezweb.ne.jp) を利用するために行います。
- 電話をかける
着信履歴 / 発信履歴や連絡先を利用してかけることもできます。
- 電話を受ける
スリープモード中でも受けられます。
- 連絡先を移行する
これまでのauの電話からデータを移行することができます。
- au設定メニューからデータ移行する方法
これまでお使いのau電話から、microSDメモリーカードやauサーバを使って本製品にデータを復元・バックアップすることができます。
- 電池消費を軽減する
バッテリーセーブを設定することで電池の消費を抑えることができます。
- 気象情報を設定する
ホーム画面で気象情報を確認できます。

基本操作を覚える

■ キーの基本操作



- ロック画面の解除
ロック画面でスワイプしてロックを解除します。

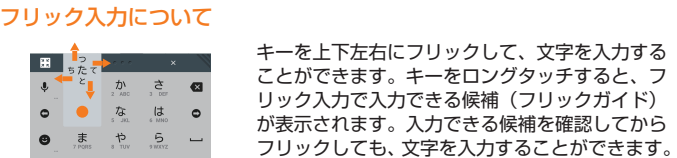
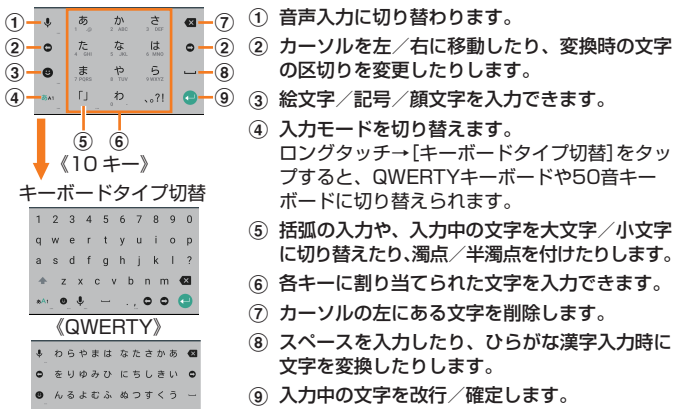
■ タッチパネルの基本操作

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。



■ 文字入力の基本操作

本製品では、文字入力時に画面下部にソフトウェアキーボードが表示されます。画面のキーをタップして文字を入力します。



キーを上下左右にフリックして、文字を入力することができます。キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補（フリックガイド）が表示されます。入力できる候補を確認してからフリックしても、文字を入力することができます。



■ 通知パネルの見かた

ステータスバーの左側に通知アイコンが表示されているときに、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認したり、対応するアプリケーションを起動したりできます。



■ アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ / 機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可しない」 / 「許可」をタップしてください。

- ・アプリ / 機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- ・許可をしないアプリ / 機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ・本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。



初期設定：STEP1

■ 言語の設定、ユーザー補助

ここでは、初めて本製品の電源を入れたときに表示される初期設定画面を説明します。

●言語を設定する場合



【日本語（日本）】→ 言語を選択 → [次へ]
※ 言語を選択後、初期設定の言語も切り替わります。以降は、画面の指示に従って操作してください。

●ユーザー補助を設定する場合



【ユーザー補助】→ 注意文を確認して、[はい] → ユーザー補助を設定 → [次へ]
※ 設定したユーザー補助によっては、以降の操作が異なります。

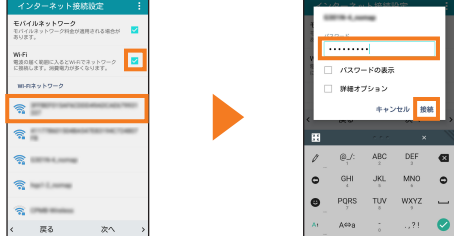
初期設定：STEP2

■ 無線LAN (Wi-Fi®) の設定

無線LAN(Wi-Fi®)機能を使い、家庭内で構築した無線LAN環境や外出先の公衆無線LAN環境などを利用してインターネットに接続できます。
本書に記載の設定方法で無線LAN(Wi-Fi®)の設定を行う際は、設定したい無線LAN機器や公衆無線LANの電波を受信できる環境で設定を行う必要があります。
無線LAN(Wi-Fi®)の設定をする前に、下記の情報をご確認ください。

SSID	接続する無線LAN機器や公衆無線LANサービスの設定上の名称
パスワード	無線LAN機器や公衆無線LANサービスに接続するためのパスワード

※ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
※ 公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
※ 無線LAN(Wi-Fi®)機能を活用した場合、電池の消費が大きくなります。無線LAN(Wi-Fi®)を使用していないときは、無線LAN(Wi-Fi®)機能をOFFにすることをオススメします。



【Wi-Fi】にチェック → 接続するネットワークをタップ
※ 設定しない場合は [次へ] をタップしてください。

パスワードを入力 → [接続] → 接続を確認 → [次へ]
※ セキュリティが設定されていないWi-Fiネットワークを選択した場合、この操作は不要です。

初期設定：STEP3

■ Googleアカウントの設定

Googleアカウントをセットアップすると、GmailやGoogle PlayなどのGoogleが提供するオンラインサービスを利用できます。
ここでは、初めて本製品の電源を入れたときに表示される初期設定画面で、アカウントを設定する方法を説明します。

ユーザー名	お客様のGoogleアカウント（ユーザー ID）、およびメールアドレスとなる任意の文字列を登録します。好きなユーザー名を登録できますが、他のユーザーと重複するユーザー名は設定できません。
パスワード	Googleアカウントを利用する際のパスワードを登録します。



Eメールの設定とバックアップ

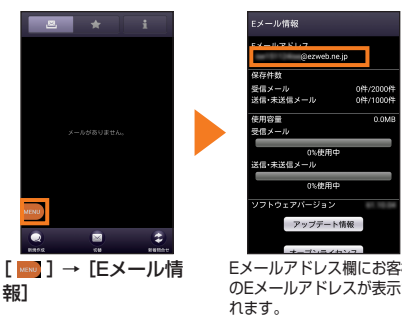
Eメール(ezweb.ne.jp)は、Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。初期設定を行うと、自動的にEメールアドレスが決まります。

初期設定時に決まったEメールアドレスは、変更することができます。

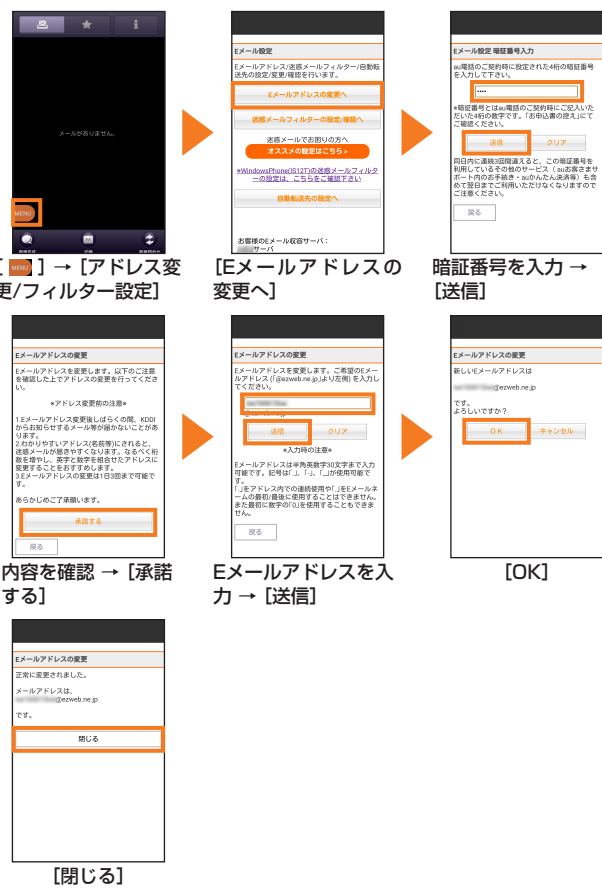
■ 初期設定



■ Eメールアドレスの確認



■ Eメールアドレスの変更



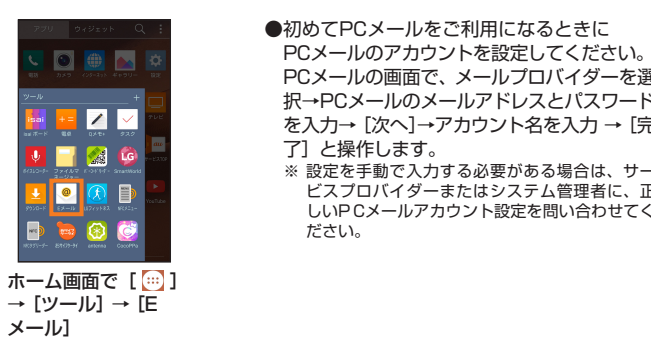
■ Eメールのバックアップ

Eメールを本製品またはmicroSDメモリカードにバックアップできます。また、バックアップデータを本製品へ読み込むことができます。バックアップの保存先は以下の通りです。



■ PCメールについて

PCメールでは、普段パソコンなどで使用しているメールアドレスを設定して、本製品からメールを受送信できます。



電話をかける

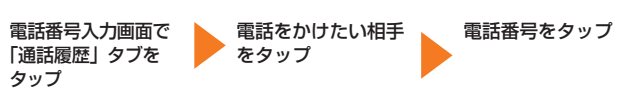
■ 電話番号を入力して電話をかける



■ 連絡先から電話をかける



■ 通話履歴から電話をかける



電話を受ける

電話がかかってくると、次の操作で電話を受けることができます。
※ お買い上げ時は、シンクコール設定の「表示している画面のまま受話する」が「ON」になっています。ここでは、お買い上げ時の設定を中心に説明します。



■ スリープ中に通話する

シンクコールがOFFのときも同様の手順で通話できます。



■ 着信を拒否する

着信を拒否すると、発信元にガイダンスが流れます。



連絡先を移行する

これまでお使いの携帯電話から、microSDメモリカードを使って本製品にデータを移行できます。



au設定メニューからデータ移行する方法

これまでお使いのau電話から、microSDメモリカードやauスマートパスのサーバを使って本製品にデータを戻す・預けることができます。

- auスマートパスのサーバを利用してデータを戻す・預ける場合は、au IDの設定が必要です。
- microSDメモリカードを利用してデータを戻す場合は、あらかじめこれまでお使いのau電話でデータをmicroSDメモリカードに保存してください。

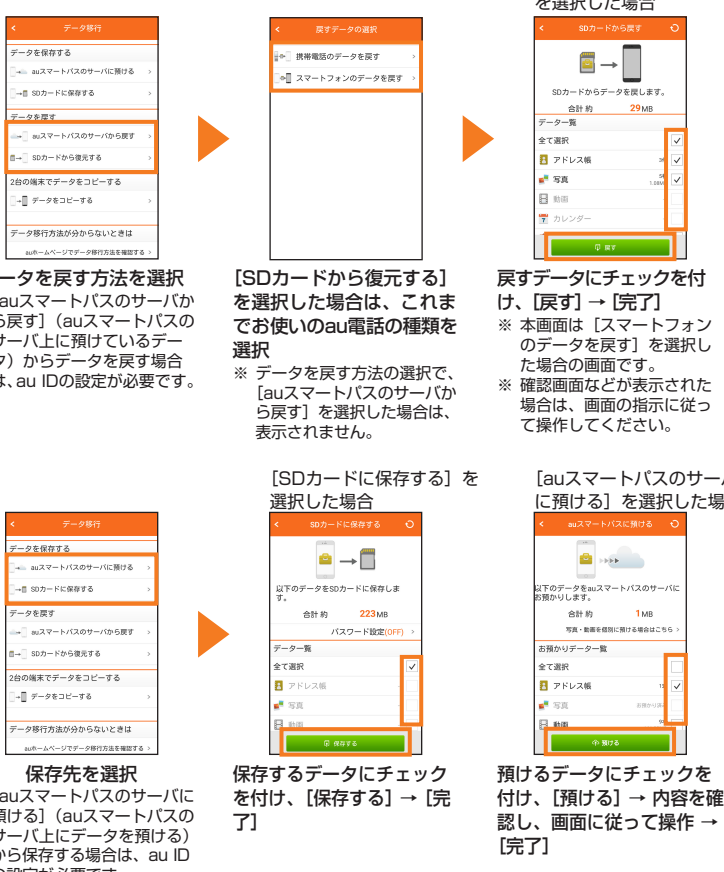
■ au設定メニューからデータを戻す方法



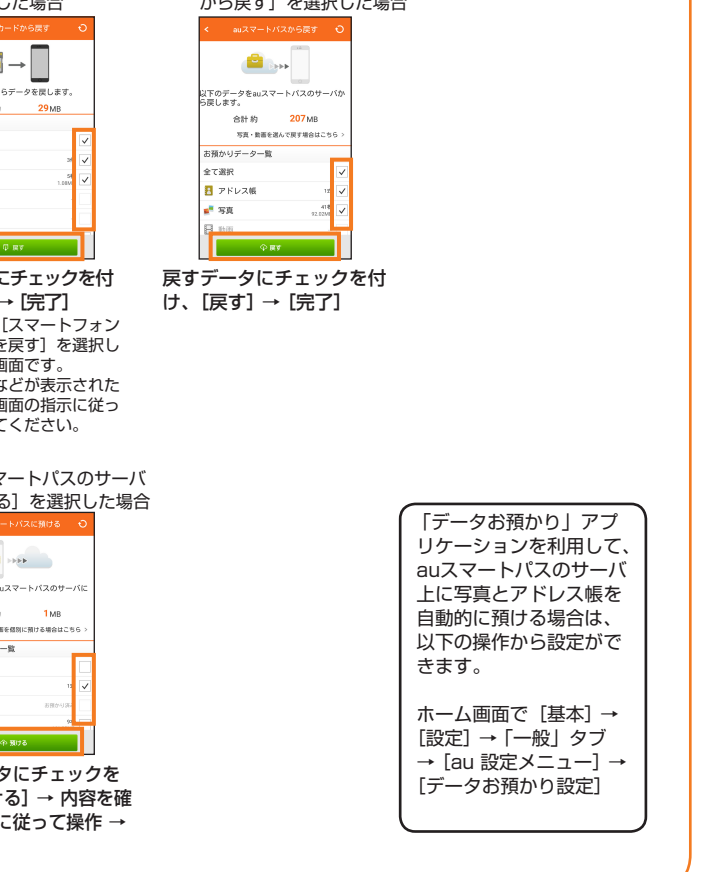
■ au設定メニューからデータを保存する方法



■ au設定メニューからデータを保存する方法



■ au設定メニューからデータを保存する方法



「データお預かり」アプリケーションを利用して、auスマートパスのサーバ上に写真とアドレス帳を自動的に預ける場合は、以下の操作から設定ができます。

ホーム画面で【基本】 → [設定] → 「一般」タブ → [au設定メニュー] → [データお預かり設定]

電池消費を軽減する

■ バッテリーセーブを利用する

バッテリー残量が少なくなったときに、自動的にバッテリーセーブモードに移行するように設定します。



■ バッテリーセーブの起動タイミングを設定する



気象情報を設定する

設定した都市の気象情報を表示します。都市は複数設定できます。

■ 都市を入力して設定する



■ 気象情報を手動で更新する

